

# 1月定例教育委員会 会議録

日 時	令和6年1月10日（水） 午後3時00分～午後3時40分
場 所	本庁舎 9階 会議室9-2
出席委員	松田教育長・市川職務代理者・末木委員・塚越委員・上原委員
出席事務局職員	飯田教育部長・岡部教育総室長・林生涯学習室長（歴史文化財課長兼任）・中田総務課長・風間学校教育課長・石川学事課長・新堀甲府商業高等学校事務長・千野甲府商科専門学校事務長・浅井教育施設課長・森本生涯学習課長・臼井スポーツ課長・青木図書館長・宮崎総務係課長補佐・菱山総務係長・坂本総務係主任
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の氏名 市川職務代理者

・12月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

松田

塚越

市川

上原

末木

## 1 開会

### 松田教育長

これより1月定例教育委員会を開会します。

市川職務代理者をお願いします。

### (1) 教育委員あいさつ

#### 市川職務代理者

皆様、あけましておめでとうございます。

行動制限のない新しい年の始まりに、私の関わっております地元の神社でも多くの参拝者とともに明るい正月を迎えたのもつかの間、令和6年1月1日から能登半島地震、航空機事故など大きな災害が起きてしまいました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された地域の復興が一刻も早く軌道に乗ることを願ってやみません。

さて、災害の発生により霞んでしまいましたが、これまで、少子化への対策として児童手当など子育てに関する対策が話題となっておりました。それはそれで効果には期待するところ大であります。

ただ一方で、少子化対策とは少し違ってきますが、子どもの教育といった観点から、保護者の経済状態や子どもの教育に対する意識の違いが子どもの将来を左右することが多いということ

は、以前から言われてきたことです。少し前に山梨日日新聞でも取り上げられていましたが、これは、親によって子どもの生き方が左右される社会で「ペアレントクラシー」と言うとのことでした。しかも、子どもに最適なものを熱心に選ぼうとする保護者と、こうしたことにこだわらない保護者に二極化する傾向が進んでおり、それが学力に大きな影響を与え、学力格差を生じさせているという話題でした。

子育てや学校教育に対する経済的な支援という側面では、児童扶養手当、就学援助等々の制度があり、ある程度は充実しているように思います。

また、学習に関しても、ボランティア団体等による家庭での学習を支援する取組があったり、放課後児童クラブとの連携という動きもあったりするようです。

ただ、保護者の子育てに対する考え方、中でも子どもの教育に対してどのように考えているかの対応はどうか。保護者の考え方の違いが、子どもたちの学習や学校生活にかなりの影響を与えることは、これまでも学校ではある程度認識されてきたことではあります。小・中学校の教員は、全てとわいいほど、このことを意識していて、子どもの学習や学校生活の状況から必要に応じて、学年や学級の保護者との懇談会などで資料を基に説明を行ったり、個別に時間を設けて直接話すなど、機会あるごとに親の意識改革を図るべく啓発を行ってきています。直接的な働きかけにより改善を促したり、全体の雰囲気をつくり上げたりするといった努力をしてきているわけです。

しかし、最近では、先生方の中に、こうしたことへの手応えが物足りないと感じるという声も聞きます。

公教育における小中学校の価値と言いますか、意義と言いますか、そういったものがなんとなく軽んじられる傾向があるように思われる昨今の風潮。このような中で、言い方は適切でないかもしれませんが、絶対数の少なくなっている子どもたち全ての成長をどう充実させていくのかという視点から、保護者を啓発する必要はないか、何か時宜を得た対応策、あるいは妙手はないものかなどと、初詣に来られた親子連れの姿に思った次第であります。

御清聴ありがとうございました。

## **(2) 会議録署名委員の指名**

**松田教育長**

会議録の署名委員は、市川職務代理者をお願いします。

## **(3) 前回会議録の承認**

**松田教育長**

続いて前回12月14日の定例会の議事録についてですが、何か御意見等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

**【原案どおり決定】**

(教育委員会承認)

## 2 議事

### (1) 議題

#### 松田教育長

第1号 令和6年度甲府市立図書館休館日について

資料に基づき、青木図書館長から説明をお願いいたします。

(青木図書館長から資料に沿って説明)

#### 松田教育長

説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

御意見、御質問等ありませんか。

よろしいでしょうか。

では、決定しました。

【原案のとおり決定】

(教育委員会決定)

### (2) 報告

#### 松田教育長

第1号 甲府市議会12月定例会の審議状況について

資料に基づき、中田総務課長から説明をお願いいたします。

(中田総務課長から資料に沿って説明)

#### 松田教育長

説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

御意見、御質問等ありませんか。

#### 市川職務代理者

感想になるので、こちらに御回答いただく必要はないと思われま

す。教員の働き方改革の問題、人材の確保といったところについて少し思うところを御話させていただければと思います。

教員の勤務時間の縮減に関する問題については、既に各学校での取組がかなり進んでおり、甲府市でも、そのことについて様々な支援を行っていると思います。

しかし、教員の勤務時間の縮減については、もはや学校とか、市町村或いは都道府県といったレベルで論じたり、改善するといった話ではないだろうという気がしております。

簡単に申しますと、ここ数年の間で、例えば道徳が教科となって、道徳の学習状況については、文書で記録を残すという体制をとることとなっています。

また、小学校で英語学習が教科となりましたが、小学校の教員は英語化教育・指導方法につい

ては、学生時代に学習しておらず、1から取り組んでいかなければなりません。それに加えて、こここのところのICTの活用ということで、今まであまり使ったことのない教育機器を、どのように使うのか、どうやったら効果があるのか、子どもたちにどう伝えていくのか、そういったことについても考えながら授業構成を工夫しなければならないといった具合に、次から次へとやるべきことが増えてきています。

簡単な比較をさせていただきますと、例えば、学校教育課の所管箇所が年々増えてきており、しかも職員の人数も増加している。そういうことを考えると、ここ数年の間に、如何に小中学校で扱うべき中身が増えてきたかわかると思います。

ですから、これだけのことをやっという中で、先生方の勤務する時間が減るわけがないと考えています。学校行事を見直せばという話もありますが、学校行事を見直しても生み出されるものは微々たるものではないかと私は思っています。

そのため、学校にはスクラップ・アンド・ビルドはなく、ビルドの連続となっています。スクラップできるとすれば、先ほど言った学校行事を、教育的な効果だとか、そういった面から考え直して、改善するか廃止するかといった程度の取組しかないのではないのでしょうか。今年度は運動会を終日やらなかった学校が多くあったと聞きますが、だからといって仕事量が減るかといったらそうではなく、むしろ少ない中でいかに充実したものをさせるかといった工夫が必要になってきますので、ここでまた言葉は悪くなりますが、いらぬ努力をしなければいけなくなってしまいます。

そういった状況の中で、レベルが国とかそういうところで、基本的に考え方を変えていく必要があるのではないかという気がしています。簡単に言えば、給料的な面での待遇改善だとか、或いは時間外手当をきちんと出すだとか、そういった改善をしていかなければ、どうにもならないかなと考えています。

皆さん聞いたことがあるかと思いますが、よく教員の勤務時間を揶揄する言い方で「定額働かせ放題」という言葉があります。そういった部分が、現在ニュースなどで前面に出てきており、そのような部分を見て、あえて教員になろうという人が出てくるかという、ちょっとどうかかなと思ってしまう。

ですから、教員の待遇改善がなかなか難しいのであれば、教員としてのやりがいというものを感じてもらえるような部分を何とかしていく必要があると思います。やりがいとかそういうことについては、学校だとか、或いは市町村や都道府県というレベルでもやれるかもしれませんが、教員の待遇改善は国が腰を上げてくれないと、この問題は解決できないという気がしています。

先生方には本当に一生懸命やっただいており、総合教育視察の中で伺ったところ、どの学校も大変充実した授業をしているように感じました。ですので、せめてやりがいが持てるような体制づくりを何とかしていただきたいと思っています。

このことについて、何か上手いアイデアがあるかという、非常に苦しいところではありますが、そんなことを思いました。

以上です。

#### **松田教育長**

ありがとうございます。

その他、御意見、御質問等ありませんか。

### **末木委員**

学校における性教育とLGBTに係る教育についてお願いがあります。

性教育については、体や生殖のことについてだけではなくて、人権や健康、幸福に関わるのだと思っています。ですから、LGBTについても、性的マイノリティに起因する差別やいじめはあってはならないと思っています。

答弁での教育長の御回答にあるように、本市の学校教育指導重点では「思い遣る心」の育成を重点目標とし、各学校において、日常の教育活動の中で、お互いに個性を大切に、多様な人々と共同できる学校づくりに取り組んでいただいておりますけれども、教職員がこの意識を共有していただいて、日常活動の中で一生懸命、一層の努力をしていただいて、性教育とLGBTについて、正しい情報を子どもたちに伝え、差別やいじめに繋がらず、多様性を認め合えるような教育を学校現場でしていただきたいと思います。

また、村松議員の御質問では「小・中学校以外の包括的な性教育の取組について」ということでもあります。教育委員会とどのような関りがあるのか、教えていただければと思います。

### **風間学校教育課長**

この答弁にもあるように、教科の学習、それから、道德等の学習を通して、人権感覚を身につけたり、人を思い遣る気持ちを育てていくということ、今後も続けていきたいと思っています。

市内のお子さんの中には、LGBTのTに当たるお子さんもいて、その保護者の方、お子さんの意向も伝えながら、学級・学年にもそういうことも伝えて、そういった配慮をしながら、一緒に仲良く生活していこうということ、指導している学校もありますので、そういったことを今後も引き続き行っていきたいと考えているところです。

それから、包括的性教育については、学校教育の中では実施をしておりませんので、今回の答弁の中には「包括的性教育を学校教育では実施しない。」というような全体的な内容になっているところです。

それ以外のことについては、市民部で答弁したところです。

以上です。

### **塚越委員**

市川職務代理者と同じように、質問ではございませんので回答を求めるものではありません。

答弁を拝見しての感想とお願いを発言させていただきたいと思います。

不登校児童生徒への対応についてですが、答弁にもありますとおり、文部科学省が不登校児童生徒数について過去最多と発表し、コロナ禍で子どもの生活リズムが乱れやすい状況であったことと分析していますが、これは表面的な理解であると感じます。

コロナ禍によって生じた、私たちにとって未曾有の状況は、子どもたちにも大きな影響を及ぼしたことは間違いありません。

また、それが生活リズムの乱れとなり、不登校の一因となったケースも実際にあると思います。

しかし、学校が児童生徒にとって魅力的な場所として認識されているのであれば、たとえ一時的に生活リズムの乱れが生じたとしても、学校が再開されれば、登校し、生活リズムを取り戻すことができたのではないかと考えます。

また、コロナ禍以前より、不登校児童生徒には昼夜逆転のような生活リズムの乱れが生じる傾

向というものが、指摘されております。これは学校に行くことを考えると、夜寝付けなかったり、朝目覚めても起き上がることができなかつたりすること、また、他の児童生徒が学校に行っていることを考えると、その時間に活動することができずに眠ることで、自分の心を守るというような子どもの苦しみの現れであると思います。

そう考えますと、不登校児童生徒の増加の原因は、もっと別のところにあるはずで、子どもたちが置かれている状況について、また、子どもたちが何に苦しさを感じているのかについて、まずは理解しようと努める必要があると感じます。

甲府市議会12月定例会において、多くの議員の方が、子どもの育ちに関わった御質問をされていますことは、多くの市民が子どもの苦しい状況を何とかしたいという思いを持ち、子どもの育ちをどのように保証していくかを私ごととしてとらえていらっしゃる、そういう現れであると思います。

教育行政は国、山梨県との連携が重要でありますし、既に甲府市として独自の取組をさせていただいていることも承知しておりますが、不登校児童生徒への対応に限らず、子どもの生きる場所についての議論を学校に付したものにすることはなく、多くの人の又何よりも当事者である、子どもの声を聞いて考えていくということを、今後も大事にさせていただきますようお願いしたいと思います。

よろしく願いいたします。

以上になります。

#### **松田教育長**

ありがとうございました。

子どもたちを今の学校に通わせていくとか、これまでそういう指導や側面が強調されてきていますけれども、ある意味では不登校たちが増えているという状況の中で、やはり学校自体も同様に変わって或いは変えていく必要があるとの指摘がありましたので、御意見を受けとめさせていただきたいと思います。

ありがとうございました。

その他、何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

### **3 その他**

#### **松田教育長**

何か御質問等ありますでしょうか。

#### **塚越委員**

議会が開催された場合、教育委員会に関わる答弁について御報告をいただくのですが、議員の方の御発言内容がわかりませんので、答弁の理解に難しさがあるというか、適切に私のほうで理

解できていないというふうに感じております。

お仕事の負担を増やしてしまうということになってはいけないと思いますが、可能でしたら、簡単に構いませんので、議員の方の御質問或いは御発言内容の概要がわかるような資料もいただければありがたく思います。

よろしく願いいたします。

**松田教育長**

事務局よろしいでしょうか。

(「はい。」と呼ぶ者あり。)

**松田教育長**

それでは、今後は議員の質問や発言内容がわかるような資料を付けるということで対応させていただきたいと思います。

その他、何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

**4 閉会**

**松田教育長**

それではこれをもって、1月定例教育委員会を閉会します。